

平成23年3月期 第2四半期累計期間(上半期)

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

決算短信補足資料

上半期の業績は前年同期比 売上高19.9%増、経常利益
18.4%増となりました。
通期業績予想の修正発表(上方修正)を本日付で行いました。

FUJI フジ住宅株式会社

平成22年10月29日

目次

PAGE

1. 平成23年3月期 第2四半期累計期間(上半期)
決算サマリー(平成22年4月1日～平成22年9月30日)
2. 事業別売上高(前年同期比較)
3. 連結損益計算書(上半期計画・実績)
4. 受注契約高の推移
5. 事業別受注契約高比較
6. 連結損益計算書(通期予想の修正)
7. 通期目標達成見通しの根拠
8. 事業トピックス(中古住宅売上高の推移)
9. 事業トピックス(新規事業の開始)
10. 業績予想の適切な利用に関する説明

平成23年3月期第2四半期累計期間(上半期) 決算サマリー(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

1. 業績の状況

当上半期の連結売上高は、27,308百万円(前年同期比19.9%増)、経常利益1,369百万円(前年同期比18.4%増)、純利益は671百万円(前年同期比1.2%減)となりました。(2ページご参照)

保有有価証券(銀行株)の時価の下落により、株式評価損225百万円を特別損失に計上いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前年上半期実績	百万円 22,775	百万円 1,170	百万円 1,156	百万円 679
当上半期予想	百万円 27,500	百万円 1,100	百万円 1,120	百万円 549
当上半期実績	百万円 27,308	百万円 1,344	百万円 1,369	百万円 671
前年同期比	19.9%増	14.8%増	18.4%増	1.2%減

平成22年7月30日付で上半期予想の上方修正を行いました。(3ページご参照)

2. 通期業績予想について

平成23年3月期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
期初通期予想	57,000	2,515	2,500	1,450	45.31
通期予想	59,300	3,540	3,570	1,930	60.32

平成22年10月29日付で通期予想の上方修正を行いました。(6ページご参照)

3. 受注契約高の状況

当上半期の受注契約高は、新築戸建住宅、中古住宅を中心に好調な受注となり、期初計画比24.7%増の29,944百万円(前年同期比37.1%増)となりました。

(4、5ページご参照)

事業別売上高(前年同期比較)

(単位:百万円)

		前年上半期実績 (H21.4 ~ H21.9)	当上半期実績 (H22.4 ~ H22.9)	前年同期比
分譲住宅	自由設計住宅	9,084	10,341	13.8 % 増
	計	9,084	10,341	13.8 % 増
住宅流通	中古住宅	5,984	7,648	27.8 % 増
	建売住宅	2,321	2,121	8.6 % 減
	土地販売等	113	6	94.2 % 減
	計	8,420	9,776	16.1 % 増
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	1,411	2,826	100.3 % 増
	個人投資家向け 一棟売賃貸マンション	455	713	56.5 % 増
	計	1,867	3,539	89.6 % 増
賃貸及び管理		3,360	3,580	6.5 % 増
その他		42	69	62.7 % 増
連結売上高合計		22,775	27,308	19.9 % 増
連結営業利益		1,170	1,344	14.8 % 増
連結経常利益		1,156	1,369	18.4 % 増
連結純利益		679	671	1.2 % 減
1株当たり四半期純利益		円 銭 21.24	円 銭 21.00	円 銭 0.24 減

当上半期の連結売上高、連結営業利益、連結経常利益はそれぞれ前年上半期を上回りました。連結純利益は、急激な株式市場の相場低下を反映して株式評価損(特別損失)を計上したことにより、減少しました。

連結損益計算書(上半期計画・実績)

(単位:百万円)

	平成23年3月期 期初上半期予想 (平成22年4月30日付)	平成23年3月期 上半期予想修正 (平成22年7月30日付)	平成23年3月期 上半期実績
売上高	25,400	27,500	27,308
営業利益	710	1,100	1,344
経常利益	700	1,120	1,369
連結純利益	406	549	671

上半期実績が期初上半期予想と比べて上回った理由

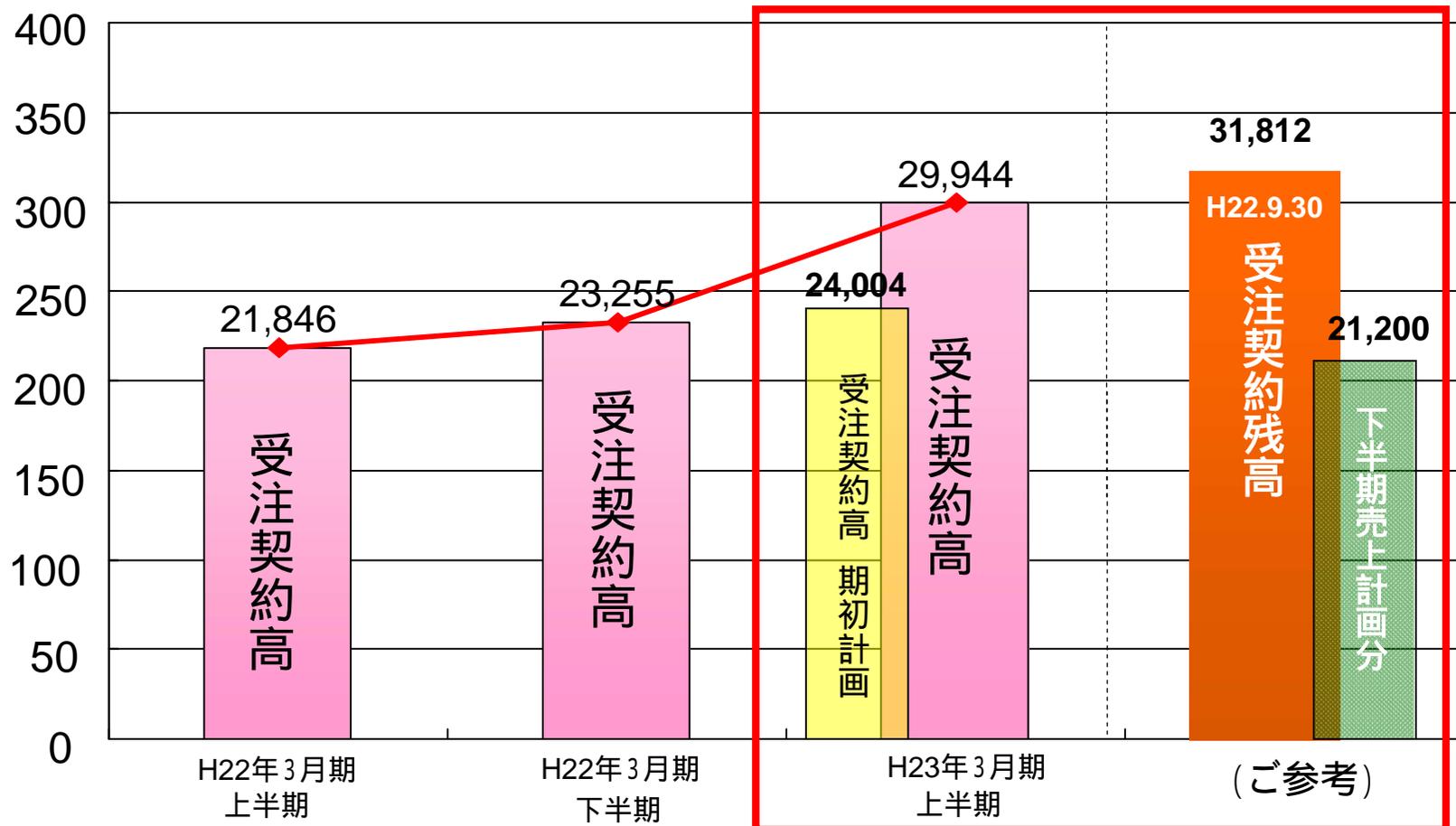
1. 分譲住宅及び土地有効活用物件について工事が順調に進んだことで引き渡しが前倒しとなったこと
2. 工事進行基準売上高の増加

受注契約高の推移

当上半期の受注契約高は、期初計画比24.7%増の29,944百万円(前年同期比37.1%増)となりました。

(億円)

(単位:百万円)



事業別受注契約高比較

(単位:百万円)

		前上半期実績 (H21.4 ~ H21.9)	当上半期実績 (H22.4 ~ H22.9)	前年同期比	
分譲住宅	自由設計住宅	9,757	17,582	+7,824	80.2 % 増
	計	9,757	17,582	+7,824	80.2 % 増
住宅流通	中古住宅	5,832	7,865	+2,032	34.9 % 増
	建売住宅	2,179	2,052	- 126	5.8 % 減
	土地販売等	80	41	- 38	47.9 % 減
	計	8,092	9,960	+1,867	23.1 % 増
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	2,869	1,772	-1,096	38.2 % 減
	個人投資家向け 一棟売賃貸マンション	1,061	466	- 595	56.1 % 減
	計	3,930	2,238	-1,691	43.0 % 減
その他		65	163	97	149.1 % 増
合計		21,846	29,944	+8,098	37.1 % 増

連結損益計算書(通期予想の修正)

(単位:百万円)

	平成23年3月期 上半期実績	平成23年3月期 期初通期予想 (平成22年4月30日付)	平成23年3月期 通期予想
売上高	27,308	57,000	59,300
営業利益	1,344	2,515	3,540
経常利益	1,369	2,500	3,570
連結純利益	671	1,450	1,930

平成22年10月29日付で通期業績予想を上方修正し、公表いたしました。

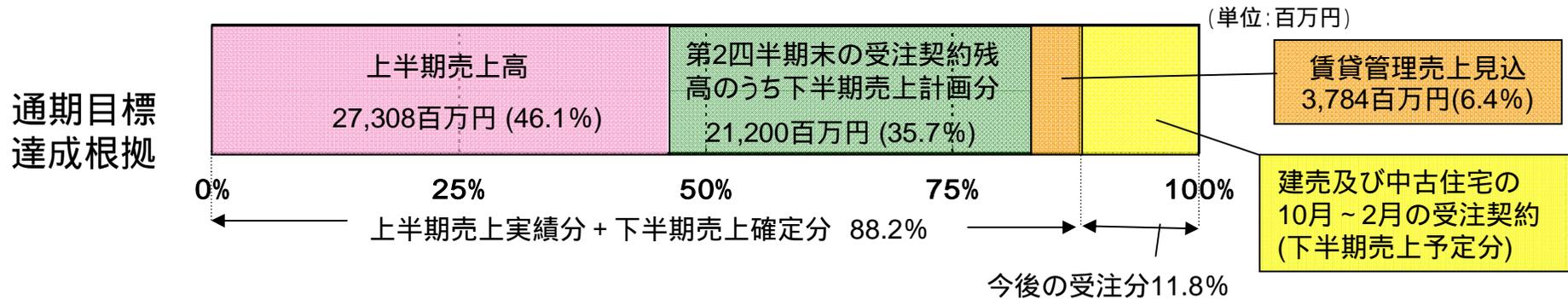
通期業績予想の上方修正の理由

1. 自由設計住宅の受注好調による売上高の増加
2. 土地有効活用物件の工事が順調に進んでいることでの引き渡しの前倒しと工事進行基準売上高の増加
3. 事業全般の売上総利益率の向上

通期目標達成見通しの根拠 (連結売上高実績進捗状況)

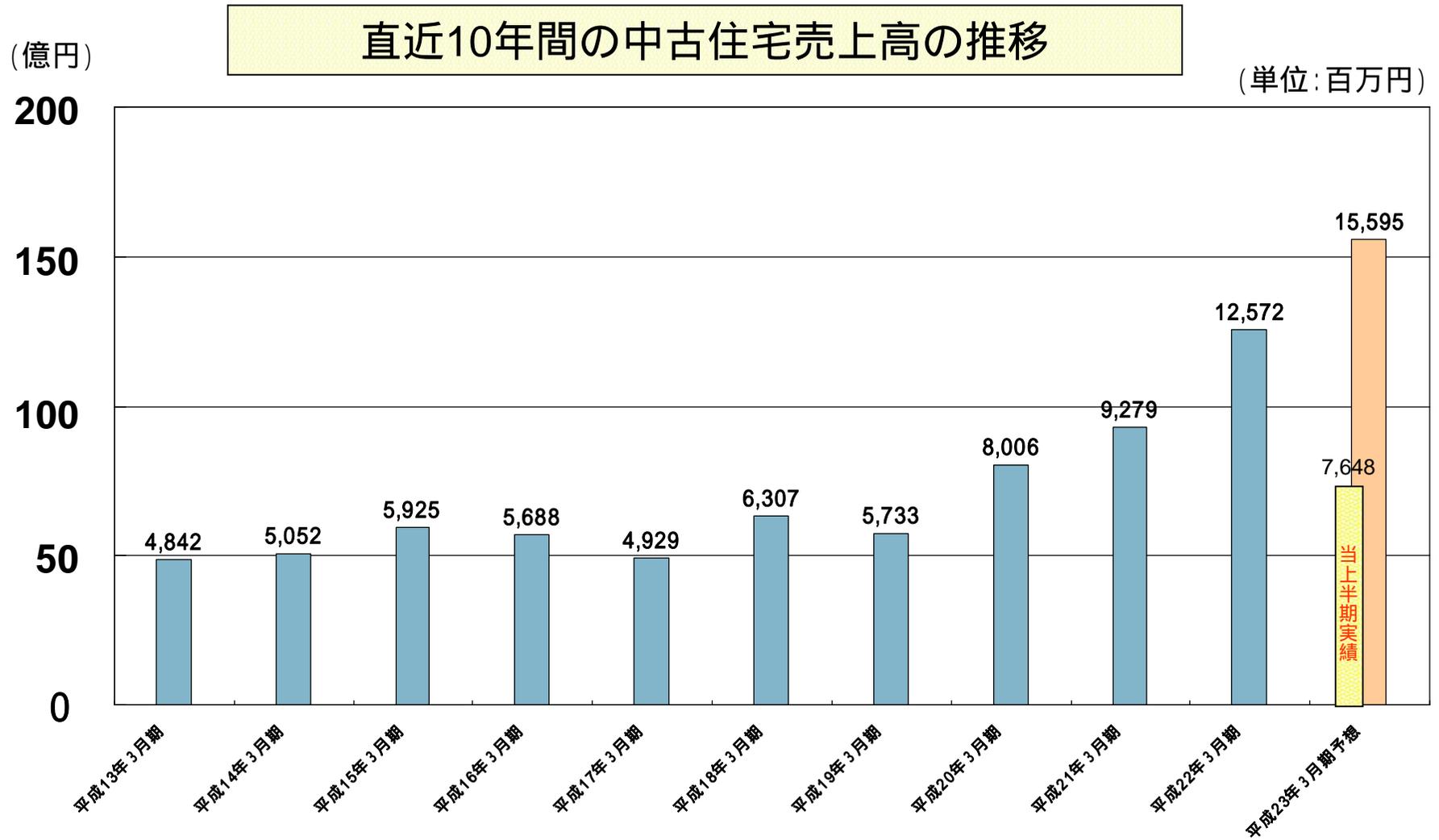
当上半期の売上実績に、第2四半期末の受注契約残高のうち21,200百万円の下半期売上計画分を加えた48,508百万円が既に当期の売上に見込まれており、年間売上計画の81.8%に達しています。さらには、10月以降の新築建売及び中古住宅の受注契約と賃貸管理の売上が当期の売上に加わりますので、上方修正した連結業績予想は無理なく達成できる見通しです。

	平成23年3月期 上半期実績	平成23年3月期 下半期予想	平成23年3月期 通期予想	進捗率
連結売上高	27,308 百万円	31,992 百万円	59,300 百万円	46.1%



事業トピックス

1. 中古住宅売上高の推移

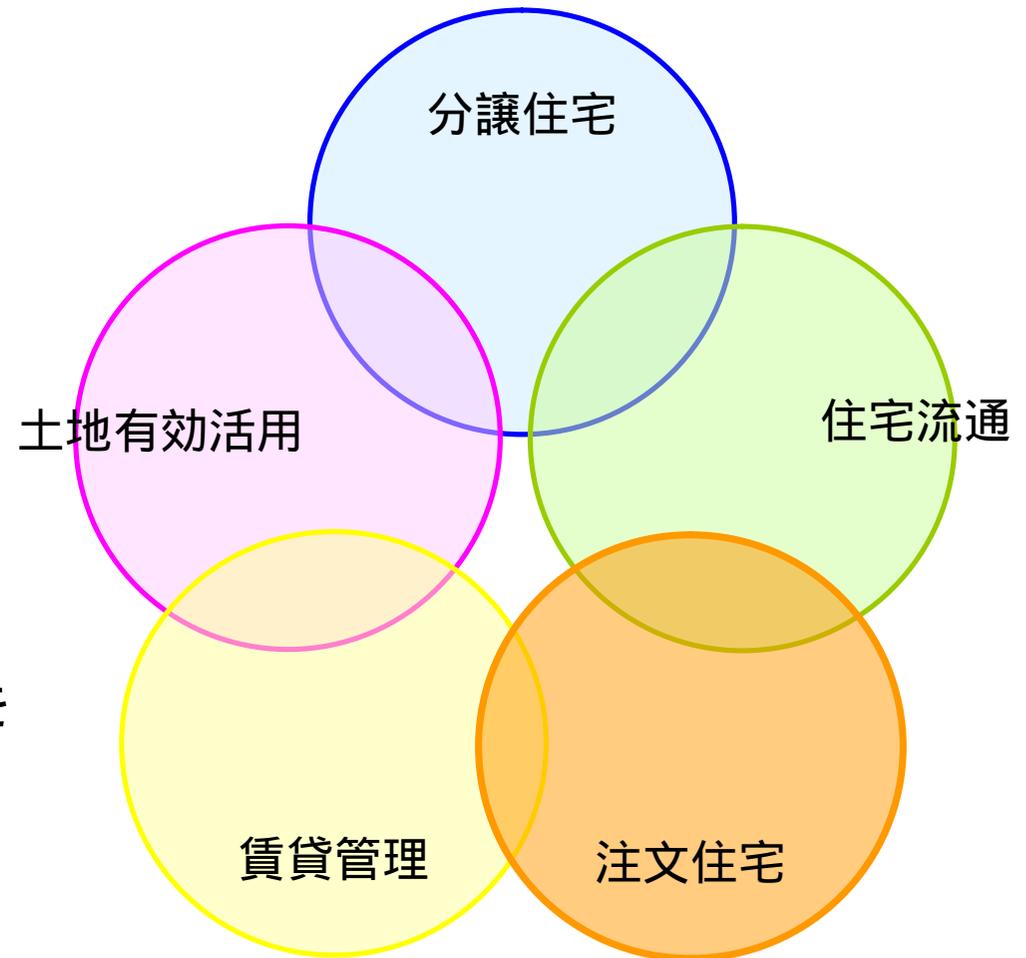


事業トピックス

2. 新規事業の開始

注文住宅事業

- 平成22年10月1日より新たな事業として開始
(平成22年9月14日プレス発表)
- 注文住宅事業をバランス経営
(長期安定経営)の5番目の事業の柱に育成
 - ・セグメント営業利益5億円をめざす



本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる可能性があります。